

<まちづくりに関するご意見など>

- 区画整理に伴い、杉崎町がすばらしい街並みになった。多くの人にPRすべき。
- 鉄道高架に動きがないので、街から商業者が離れてしまっている。
- 高架は賛成だが、企業誘致や大学誘致など、自然と人が集まるような施策にも取り組むべき。
- 踏切の幅が狭く、ドアミラーがぶつかる事故が多い。
- 鉄道高架により、街が便利になるだけでは人口は増えない。
- 人口減少への対策を早急に講じていく必要がある。
- 沼津港や伊豆との連携を考えてほしい。
- 様々な機会を通じ、行政とまちづくりへの意見交換を行い、積極的に事業を進めていきたい。

<事業に関する質問など>

- Q. 鉄道高架はいつ頃、完成するのか？
- A. 高架本体工事は、約13年を予定しておりますが、貨物駅の跡地を活用して高架橋を施工するため、移転先用地の取得が前提となります。完成時期は用地取得完了までの期間によって変動することから、市としましては、早期完成を目指し、県とともに全力で取り組んでいるところです。
- Q. 高架はどの辺りから上がってくるのか？また、現線路の南側が高架されるのか？
- A. 大岡団地付近が高架の起点となり、現線路の北側に高架の線路を整備する計画となっております。
- Q. 鉄道施設の移転用地を100%取得する前に高架の工事を行うことはできないか？
- A. 沼津駅付近鉄道高架事業は、御殿場線ホームの北側にあります貨物の用地を移転させ、その跡地を利用して高架橋を順次、建設していきます。
貨物駅の機能がそのまま同じ場所に残ると、高架化された本線に接続することができないため、鉄道高架工事は貨物駅の移転が前提となっております。

Q. 鉄道高架は賛成だが、完成まではかなり先になる。人口減少が続いており、他市町の施策を見習って沼津市も、子育て施策の充実等を図ってはどうか？

A. 鉄道高架事業と合わせ、沼津市でもまちなか居住の促進や子育て支援等に関する様々な施策に取り組んでおります。市ホームページや広報ぬまづ等で、その施策に関するPRを今後もお知らせしてまいります。

Q. 選挙権が18歳からになったこともあり、高校生にも事業説明して、まちづくりに関心を持ってもらえるような取り組みをしてはどうか？高校生の方が自由な発想で、様々な意見が出ると思う。

A. プラサヴェルデの共有スペースは、テスト勉強等で大変多くの高校生が利用しております。こうした機会をとらえ、キラメッセ2階に沼津駅周辺総合整備事業の完成イメージ模型や事業説明用パネルを常設展示いたしました。併せて、鉄道跡地や高架下利用に関して、自由に意見を書いていただくよう、「ご意見ノート」を設置しております。

また、平成24年度から市内の高校や専門学校に出向き、事業説明等を実施しているところですが、今後も、このような取り組みを進めていきたいと考えております。